

2013秋冬の活動報告

■ 本会議登壇

2013年は本会議に二度に渡って登壇させていただきました。地方交付税法の改正案、そして国家公務員法の改正案についての質疑討論です。地方の自主性を脅かすような政府の方針、そして、内閣による国家公務員の人事管理の強化について関係大臣の見解を質しました。金融緩和や景気対策など経済面に重きが置かれた現政権の方針ですが、地方分権や国家公務員制度、また社会保障や税制面を含めた、本格的な構造改革への取り組みには気迫が見られません。野党としてこの点はしっかりと取り組みたいと思います。



■ 韓国訪問と外務委員会

何年かに一度、必ず外務委員会に所属し、日本の外交安全保障政策について知見を深めています。安倍政権発足後、一年余り、未だに日韓・日中の首脳外交が行われていないなど、近隣諸国との関係は深刻です。

昨年暮れ、岡田克也さんと一緒に韓国を訪問しました。政権幹部や与野党の国会議員、日本研究の専門家、マスコミ関係者、ソウル大の学生さんなど多くの皆さんと対話を重ねました。両国間の対話の必要性を強調しましたが、安倍政権とは対話の



▲ 12月23日 ソウル大学のみなさんと



▲ 日韓議連のみなさんと

窓口を開くこと自体がリスクであるという見方が支配的で、残念な思いです。日本の国際的な地位低下、そして中国や韓国の地位向上が背景にあると強く感じました。

こうした中での、安倍総理の昨年末の靖国参拝強行でした。これは中国、韓国にとどまらず、アメリカ、ヨーロッパ、台湾、ロシアなど、他の重要関係国からも一斉に懸念と批判の声が上がっています。自民党リベラル派と言われる岸田外務大臣に閣僚の靖国参拝について尋ねても、私人としての参拝に問題はないという答弁に終始しており、かつて自民党の中にあった幅広い意見が薄れ、単調なものになっている、豊かさが失われているとの印象は否めません。



▲ 11月6日 外務委員会

■ 野党連携

今後に向けて、経済偏重、対外強硬路線の現政権に対して、やはり成長と共生の両立、構造改革への熱意、近隣諸国との融和を旨とした品格ある外交姿勢など、現政権と対峙する政治勢力の連携・結集が不可欠です。若手同士の野党横断的な勉強会への取り組みなど、人を知り、政策を議論するところから、あらゆる可能性を探りたいと思います。

■ 2014年

2014も波乱含みの一年になりそうです。1月には沖縄県名護市において、市長選挙が行われ、普天間基地の辺野古への移転に反対する現職の稲嶺氏が当選しました。辺野古への移設を進める政権にとっては大きな痛手です。2月には東京都知事選挙が行われ、エネルギー環境面での争点が大きくクローズアップされています。4月には状況次第で徳洲会事件に絡んだ鹿児島での衆議院の補欠選挙が実施される可能性もあります。また通常国会が閉会した後、夏前後をめどに、民主党内の体制のあり方を巡って、大きな議論がある可能性もあります。緊張感を持って、今年も悔いの無いよう精一杯取り組みたいと思います。

■ 地元での活動風景



12月12日 一宮駅ビラ配り



11月23日
円座杯始球式

12月14日
鶴尾校区対話集会



1月21日 三谷町街頭演説



11月3日 観音寺市議選



10月20日 菅沢むらおこし



10月6日 オリーブ瞳マラソン



10月20日
鶴尾神社例大祭



11月10日
後援会ふれあいバスツアー



1月5日 高松市中央卸売市場にて

12月16日
県への要望と
意見交換